

寄席

ぺんぺん

日本昔話

昔話を琵琶・三味線・鳴物等、和楽器の効果音を使ってお話しします

- ・耳なし芳一
 - ・妖怪シリーズ
- etc



江戸文化細棹妙技

三味線、鼓、太鼓、大鼓、笛の合奏妙技
細棹三味線の長唄には大きくわけて2種類あり、情景描写と物語(段物)の曲
情景描写は、季節感と生物等の表現。

- 春…新曲胡蝶(蝶々が遊ぶ)
- 夏…蛙(梅雨)
- 秋…秋色種(虫の声)
- 冬…鶯娘(雪の降る中に鶯の妖精が恋い焦がれる)

物語の曲の多くは歌舞伎音楽が多く、土蜘蛛(蜘蛛の精と源頼光の戦い)や、勸進帳(牛若丸、弁慶シリーズ)、鬼で有名な茨城の童子等の物語等。
越後獅子、連獅子、他



三味線Henry(杵屋喜鶴)

長唄五世家元杵屋喜多六の長女として生まれる。

杵屋勝国師に師事。

東京藝術大学長唄三味線専攻卒業。

正当な古典芸能に動かし、その上で型破りな創作活動も志し、現代舞踊や洋楽等と共演。故六柳庵やそ(三味線やそすけ)氏と共演し、奥義を伝承される。

地歌舞伎の下座音楽を担当し、琵琶や三線、浄瑠璃等にもチャレンジ。

解りやすい解説や楽しいお話を交えて長唄の魅力を広める「寺子屋」や、名古屋や中津川で三味線教室、文化庁の親子文化教室等を開催。

「ぺんぺん寄席」の名称は故六柳庵やそ(三味線やそすけ)氏より継承。

ご要望があれば、無料三味線ワークショップをいたします。また、プロジェクター等で解説をすることも可能です。

ぺんぺん楽団

〒464-0074 名古屋市中種区仲田1-3-8 HC御殿
e-mail: penpen.d.live@gmail.com